

平成30年度  
事業報告書

社会福祉法人  
名張市社会福祉協議会

## 目 次

I	【 法人本部拠点 】	
ア.	法人運営事業	1
	1. 法人運営の基盤強化	
	2. 人事労務管理体制の整備・強化	
	3. 地域福祉課業務の標準化・適正化	
イ.	地域福祉増進事業	7
	1. 地域福祉活動計画の推進	
	2. 暮らし応援ネットワーク事業	
	3. 生活支援体制整備事業	
	4. ボランティアセンター事業	
	5. 福祉まちづくりセンター事業	
	6. 福祉団体等当事者活動支援	
ウ.	なばり暮らしあんしんセンター	20
	1. 福祉サービス利用援助事業	
	2. 成年後見事業	
	3. 生活困窮者自立支援事業	
	4. 生活福祉資金等貸付事業	
II	【 在宅福祉サービス拠点 】	28
III	【 昭和保育園拠点 】	30
IV	【 総合福祉センターふれあい拠点 】	35
V	【 老人福祉センター「ふれあい」拠点 】	37
ア.	老人福祉センター指定管理事業	
イ.	介護予防事業	

※ 【拠点】は、会計の区分における拠点区分に該当します。

# I 【法人本部拠点】（地域福祉課）

## ア. 法人運営事業

### 1. 法人経営の基盤強化

#### 1. 経営組織の適正運営（ガバナンスの強化）

##### ①理事会の適正な運営

事業計画・予算、事業報告・決算についての承認、組織構成会員の入会及び役員等の選任を行いました。

開催日	議案及び審議事項
第1回 6月5日(火)	1) 平成29年度事業報告及び附属明細書の承認について 2) 平成29年度計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認について 3) 組織構成会員の入会について 4) 平成29年度地域福祉活動助成事業にかかる完了の認定について 5) 平成30年度地域福祉活動助成事業にかかる審査について 6) 平成30年度定時評議員会の日時及び場所、目的である事項の決定について 7) 給与規程の一部改正について 8) 評議員候補者の推薦について
第2回 8月29日(水)	1) 就業規程の一部改正について 2) 評議員選任・解任委員の選任について
臨時正副会長会議 10月11日(木)	1) 訪問看護事業のあり方について 2) その他
第3回 12月14日(金)	1) 補正予算（第1号）について 2) 会員規程の一部改正について 3) 役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関する規程の一部改正について 4) 会長の報酬等に関する規程の一部改正について 5) 平成30年度第2回評議員会の招集について
第4回 3月15日(金)	1) 積立金管理規程の制定について 2) 補正予算（第2号）について 3) 2019年度事業計画について 4) 2019年度予算について 5) 組織規程の一部改正について 6) 平成30年度第3回評議員会の招集について

##### ②評議員会の適正な運営

理事会で認定を得た事業計画・予算、事業報告・決算等重要事項の議決の他、理事の選任について承認を得ました。

開催日	議案
第1回 6月20日(水)	1) 平成29年度事業報告の承認について 2) 平成29年度計算書類(貸借対照表及び収支計算書)及び財産目録の承認について 3) 役員を選任について
第2回 12月21日(金)	1) 補正予算(第1号)について 2) 役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関する規程の一部改正について 3) 会長の報酬等に関する規程の一部改正について
第3回 3月22日(金)	1) 補正予算(第2号)について 2) 2019年度事業計画について 3) 2019年度予算について

### ③監事監査の実施

事業運営と財務管理について、監事監査を年2回実施しました。

実施日	議題
決算監査 5月15日(火)	1) 平成29年度決算報告について 2) 平成29年度事業報告について
中間監査 11月19日(金)	1) 平成30年度上半期の事業報告について 2) 平成30年度上半期の経営状況について 3) 訪問看護事業について 4) 理事等の出席状況について 5) 役員会、財務会計に関する事務処理体制に係るチェックについて 6) 中間監査報告書の作成について

### ④組織構成会員種別会の開催

第3種、第4種、第6種の種別会を開催し、理事の任期満了に伴う次年度の理事候補者の選出並びに名張市における地域福祉の推進について意見交換会を行いました。

#### 【第3種 社会福祉事業施設】

開催日	2月14日(木)
参加団体数(参加人数)	【第3種】11団体中5団体(5名)
内容	・理事候補者の選出

#### 【第4種 当事者等団体】・【第6種 その他社会福祉に関係のある団体】

開催日	2月19日(火)
参加団体数(参加人数)	【第4種】15団体中10団体(11名) 【第6種】22団体中9団体(9名)
内容	・理事候補者の選出 ・意見交換会：テーマ「社協の事業等について」

## 2. 内部管理体制の構築

前年度に引き続き、経営企画調整監及び経営企画専門員を配置して、各拠点の組織運営の強化を図りました。また、経営会議を年 16 回、必要に応じて事務局会議を開催し、法人の経営・運営に係る協議、検討をすすめました。

## 3. 財務規律強化と透明性の向上

### ①適正な財政運営

顧問税理士の指導のもと、関係規程に則した適切な税務及び財務管理を行いました。また、専門家の指導のもと、積立金管理規程を整備し、資産の適正管理に努めました。

### ②施設・財産管理

老朽化した施設を維持管理するため、改修工事を行いました。

#### ア. 昭和保育園

乳児室前広場改修工事、低年齢児用手洗い場設置工事 他

#### イ. 総合福祉センターふれあい

会議室クロス張替修繕、ふれあいホール簡易ステージ修繕 他

### ③透明性の向上

計算書類等を社協だより「ほほえみ」やホームページに掲載し、積極的に情報を公開しました。

## 4. リスクマネジメント体制の整備

事故の発生防止対策及び事故発生時の対応方法並びに組織内部の不正や誤りについて、リスクマネジメント体制の確立を促進し、サービスの質と利用者の満足度の向上を目指すとともに、組織マネジメントの機能確保、適切なリスク管理等内部統制体制の構築に取り組むため、「リスクマネジメントに関する取り組み指針」を制定しました。

## 5. 福祉啓発・広報活動

広報作業部会を中心として、社協が行う事業やさまざまな活動状況を紹介するとともに、地域福祉やボランティア活動、各種募金、相談業務の案内等積極的な情報発信に努めました。

### ①名張市社会福祉大会の開催と福祉功労者の顕彰

第 48 回名張市社会福祉大会を 10 月 6 日(土)、アドバンスコープ a d s ホールにて開催しました。

### ②社協だより「ほほえみ」の発行

年 6 回(奇数月)伊和ジャーナルの紙面に社協だより「ほほえみ」を掲載し、積極的な情報発信を行いました。

### ③ホームページを活用した情報公開と発信

ア. ホームページ上で社協の概要、活動内容、計算書類等の情報を公開するとともに、福祉やボランティアの情報、イベントや各種募金について情報を発信しました。

イ. 情報公開と情報発信をする場としてのホームページを適切に運営・管理するため、随時情報を更新し、利用者や参加者の利便性の向上を図りました。

月平均アクセス数 10,943 件

④メディア活用による情報発信

新聞、FMなびり、ケーブルテレビ等に情報提供し、イベント開催や社協の取組みについての情報発信を行いました。

## 2. 人事労務管理体制の整備・強化

### 1. 人事考課制度・目標管理制度の適正運営

考課者研修を実施し、制度の適正運営に向けて、考課者の資質向上を図りました。

実施日	研修名	対象人数	参加人数
4月26日(木)	新考課者研修	1名	1名
9月5日(水)	考課者研修Ⅰ	18名	16名
12月10日(月)	考課者研修Ⅱ	19名	15名

### 2. 安全衛生推進体制の整備

前年度に引き続き職員衛生委員会を毎月開催し、職員が働きやすい職場づくりを推進するため、さまざまな課題について協議しました。

また、本年度は、労働基準監督署の指導に基づき安全衛生推進体制を整備するため、改正した安全衛生管理規程に則り、安全推進者を配置するとともに、安全推進部会並びに昭和保育園安全衛生懇談会を設置しました。安全推進部会では、働きやすい職場づくりを推進するため、協議を重ねて「職場の安全推進チェックシート」を作成し、次年度本格実施に向けて試行検討しました。

#### ①職員衛生委員会

実施日	議案
第1回 4月25日(水)	1) 平成30年度職員衛生委員会の運営について 2) 心の健康づくり計画について 3) 平成29年度勤務時間の状況について
第2回 5月23日(水)	1) 任命式 2) 平成29年度の取組みについて 3) 平成30年度職員衛生委員会の運営について
第3回 6月25日(月)	1) 第2回安全推進部会での協議報告 2) 心の健康づくり計画に基づく取組みについて 3) 職員の勤怠管理について
第4回 7月26日(木)	1) 上半期中期振り返りについて 2) 第3回安全推進部会の報告について
第5回 8月30日(木)	1) 心の健康づくり計画における取組み(8月) 2) 衛生委員会の年間計画について 3) 第4回安全推進部会の報告について 4) チェックシートの運用及び活用方法について

第6回 9月20日(木)	1) 心の健康づくり計画における取組み (9月) ・ストレスチェック集計及び分析 ・セルフケア研修アンケート分析 2) 衛生委員会の年間計画について ・産業医による職場巡視 10月2日(火)
第7回 10月2日(火)	産業医による職場巡視
第8回 10月26日(金)	1) 心の健康づくり計画における取組み 2) 第5回安全推進部会の報告 3) ストレスチェック集計及び分析について 4) 階層別研修Ⅱのアンケート結果について
第9回 11月26日(月)	1) 働き方改革推進にかかる年次有給休暇の取得について 2) インフルエンザの予防対策について
第10回 12月25日(火)	1) 働き方改革推進にかかる年次有給休暇の取得について 2) 介護休暇の見直しについて 3) インフルエンザの予防対策について
第11回 1月31日(木)	1) 第7回安全推進部会の報告について 2) 働き方改革の推進について 3) 介護休暇の見直しについて 4) 平成31年度安全衛生管理計画の作成について
第12回 2月15日(金)	1) 第8回安全推進部会の報告について 2) 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定について 3) 平成31年度心の健康づくり計画の策定について 4) 平成31年度職員衛生委員会年間計画の策定について 5) 平成31年度安全衛生管理計画の作成について 6) メンタルヘルスラインケア研修の実施結果について
第13回 3月18日(月)	1) リスクマネジメントに関する取組み指針について 2) 第9回安全推進部会の報告について 3) 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定について 4) 年次有給休暇取得義務化への対応について 5) 36協定について

## ②安全推進部会

第1回 4月19日(木)	1) 安全衛生推進体制の整備及び安全推進者の職務について 2) 安全推進者の職務について
第2回 6月18日(月)	1) 職員衛生委員会会議報告 2) 「職場の4S推進・心身チェックシート」(案)見直しについて

第3回 7月23日(月)	1) 「職場の4S推進・心身チェックシート」(案)見直しについて 2) 「職場の4S推進・心身チェックシート」運用方法(チェック頻度)について 3) 安全推進部会年間計画について
第4回 8月16日(木)	1) 「職場の安全推進チェックシート」の協議、完成 2) 「職場の安全推進チェックシート」の運用方法
第5回 10月22日(月)	1) 「職場の安全推進チェックシート」の振り返り 2) 職員衛生委員会会議報告の方法 3) 後期の安全推進部会計画についての確認
第6回 12月19日(水)	1) 「職場の安全推進チェックシート」振り返り 2) 後期の安全推進部会計画についての確認
第7回 1月24日(木)	1) 「職場の安全推進チェックシート」の課題の協議
第8回 2月13日(水)	1) 職員衛生委員会会議報告 2) 「職場の安全推進チェックシート」の課題の協議
第9回 3月11日(月)	1) リスクマネジメントに関する取組み指針の制定について 2) 職員衛生委員会会議報告 3) 「職場の安全推進チェックシート」4月本格実施に向けて

### ③安全衛生懇談会

3月27日(水)	1) リスクマネジメントに関する取組み指針について 2) 36協定の締結について 3) 年次有給休暇取得義務化への対応について 4) ノー残業デーの実施状況について 5) 安全衛生管理計画及び実施結果報告書について
----------	---

### 3. 勤怠管理システム導入による職員管理体制の整備

職員管理における事務の適正化と効率化を図るため勤怠管理システムを導入し、平成31年度本格実施に向けて、管理者等への説明会開催並びに試行実施を通じた改善、職員周知等に努めました。

### 4. 人材確保・育成・定着

人材育成研修として、職員の階層に合わせた階層別研修と、全職員を対象とした全体研修を計画的に実施しました。

#### ①階層別研修

実施日	研修名	参加人数
4月2日(月)・3日(火)	新任職員研修	6名
4月20日(金)	新任職員研修(0級職員対象)三重県社協主催	6名
5月17日(木)・30日(水)	階層別研修(0～3級職員対象) 「予算と事業の関係について」	54名
7月18日(水)	階層別研修(3～6級職員対象) 「職場のマネジメントについて」	17名



10月18日(木)	階層別研修(0~2級職員対象) 「コミュニケーション・スキル」	21名
2月13日(水)	職場のメンタルヘルス対策(3級職員以上対象)	18名
3月8日(金)	新任職員フォローアップ研修(1級職員対象) 三重県社協主催	2名

## ②全体研修

実施日	研修名	参加人数
6月28日(木)	人材育成研修Ⅰ	50名
9月26日(水)	人材育成研修Ⅱ	44名
1月31日(木)	人材育成研修Ⅲ	35名
8月20日(月)	メンタルヘルス(セルフケア)研修	42名
11月15日(木)	人権研修会	48名
3月14日(木)	安全推進研修会	31名

## ③担当者研修

実施日	研修名	参加人数
2月8日(金)	マイナンバー研修	8名

## 3. 地域福祉課業務の標準化・適正化

### 1. 業務管理体制整備

総務課と地域福祉課を統合したことにより、係やグループ、チーム単位での業務管理体制の基盤整備を行い、業務の進捗管理や調整に努めました。

### 2. 業務の標準化

職員の異動や担当業務の変更などにもスムーズに対応していくため、内部研修やマニュアルの見直し等を行い、ヒヤリハット事案等の要因分析と職員間の情報共有を通じて再発防止に努めました。

## イ. 地域福祉増進事業

### 1. 地域福祉活動計画の推進

#### 1. 第3次名張市地域福祉活動計画(見直し計画)の推進

第3次名張市地域福祉活動計画(見直し計画)に基づき、地域の福祉的課題を解決する住民主体の体制強化や新たなネットワークづくり、資源開発等に取り組みました。

#### 2. 名張市地域福祉活動計画推進委員会の開催

第3次名張市地域福祉活動計画(見直し計画)の進捗状況の確認、評価のため、名張市地域福祉活動計画推進委員会を開催しました。

実施日	2月20日(水) 推進委員 5名
-----	------------------

### 3. 地域福祉推進懇談会の開催

地域福祉活動をさらに充実させることを目的に、地域づくり組織とともに福祉的課題やその解決策を話し合う地域福祉推進懇談会を共同開催しました。

日程	10月26日(金)～2月17日(日) 15地域 8～43名(205名)
主なテーマ	「地域で支え合おう！」 「未来を担う若者、子どもたちにつなぐ」 「気軽に憩えたらいいなあ 地域の楽しい居場所づくり」 「名張市社会福祉協議会の取り組みについて」など

## 2. 暮らし応援ネットワーク事業

### 1. 地域担当職員（コミュニティソーシャルワーカー）の配置

地域福祉係地域担当職員3名（社会福祉士等）により15地域を担当し、活動者とともに地域福祉活動を推進するため、地域づくり組織や民児協の会合・行事等をはじめとする地域活動の場へ出向き、情報収集や提供、相談や助言を通して活動支援に取り組みました。

#### ①地域の会議や事業等への参加状況

区分	会議や事業	ふれあい・いきいきサロン	その他
件数	201件	104回(50サロン)	268件

### 2. 社会福祉法人としての地域貢献活動の推進

名張市内の社会福祉法人・施設が連携し「名張市における公益的な取組」を共に推進していく名張市社会福祉法人連絡会を開催しました。

11月5日(月)	参加者 8法人 ・地域福祉推進懇談会の実施について ・福祉人材就職フェアの実施検討について ・意見交換
2月14日(木)	参加者 6法人 ・福祉人材就職フェアの実施報告について ・平成30年度地域福祉推進懇談会の実施報告について ・2019年度社会福祉法人連絡会の取組みについて

### 3. 救急医療情報キットによる安心ネットワーク事業の推進

民生委員・児童委員の協力により、高齢者実態調査の機会に合わせて更新確認の声かけを行ってもらい、社協職員による更新確認と合わせて、個別の相談支援に取り組み、漏れのない見守りのしくみづくりをすすめました。

平成30年度申込	266世帯・397名
利用者数	3,513世帯(147世帯増)・5,209名(171名増) (利用廃止1,123世帯・1,855名 ※H24からの廃止総数)
救急隊活用件数	16件 期間：平成30年1月1日～平成30年12月31日

### 3. 生活支援体制整備事業

生活支援コーディネーターを1名配置し、各地域でのボランティア等による生活支援・介護予防活動について、地域担当とともに実施状況把握や活動支援に取り組みました。

#### 1. 地域ささえあい活動

地域ささえあい活動団体	9団体 梅が丘（平成31年4月実施）
地域ささえあい活動連絡会	3月18日（月）参加者18名（10団体）・名張市（3部署）
地域における支えあい活動 セミナー（県社協）	3月13日（水）参加者3名、事例発表者2名 事例発表：なばりこども食堂

#### 2. 配食ボランティア活動

##### ①研修会、連絡会

研修会	7月9日（月）参加者25名（7団体）・市民センター6名（5カ所） 「夏場における食中毒及び手指消毒の重要性について」
	11月29日（木）参加者17名（6団体） 「ノロウイルスについて」
連絡会	2月26日（火）参加者9名（5団体） 活動紹介：配食グループこもちゃん 「プラスONE活動～子どもたちと一緒にこんなことをやってみました～」 情報交換会

##### ②配食ボランティア活動実績（地域福祉活動助成対象団体）

配食	8団体/8地域	配食数	18,686食	対象者数	470人	活動日数	344日
会食	1団体/1地域	開催日数	12日	延べ利用者数	460人		

#### 3. ふれあい・いきいきサロン

交流会	2月28日（木）参加者47名（33サロン）、2名（2施設） サロン活動紹介：いきいきサロン赤とんぼ サロンで使える地域福祉活動支援備品の紹介および体験
-----	---

#### 4. 各地区の社会資源マップの作成と活用

「各地区の社会資源」マップを作成し、まちの保健室をはじめ、市内のケアマネジャーへ情報提供を行いました。

#### 5. スクエアステップサロン活動支援、人材育成

地域担当職員と連携し、新たな介護予防・認知症予防として住民主体の「スクエアステップサロン」を各地域で展開していくための人材養成と活動の立ち上げ支援を行いました。

スクエアステップ体験会	10月31日（水）参加者52名
スクエアステップ リーダー養成研修	（第1クール） 7月24日（火）、7月25日～8月8日（選択実習）、8月9日（木）修了者26名

スクエアステップ リーダー養成研修	(第2クール) 11月20日(火)、11月28日～12月3日(選択実習)、12月4日(火) 修了者16名
スクエアステップ リーダー交流会	2月27日(水) 参加者43名 意見交換会、ステップパターンの発表
スクエアステップサロン	リーダーが中心的にサロン活動を展開 6地域(鴻之台希央台、比奈知、桔梗が丘、つつじが丘、赤目、美旗)
スクエアステップ リーダー育成支援	43回9地域(名張、比奈知、蔵持、すずらん台、つつじが丘、赤目、箕曲、美旗、薦原)
スクエアステップの 出前講座	9回5カ所(比奈知、箕曲、国津、赤目、福祉団体)

#### 6. 健康・子育て支援室主催まちじゅう元気プロジェクトへの協力

まちじゅう元気プロジェクトへの協力を通じて、一般介護予防の新たなサービス実施展開に関する取り組みをすすめました。

協力状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6地域(会議やプロジェクト事業への参加、スクエアステップ実施等)</li> <li>・よくばリーダー養成研修実施協力(スクエアステップ体験等)</li> </ul>
------	--

### 4. ボランティアセンター事業

#### 1. ボランティアセンター運営委員会

住民の多様なニーズに対応していくため、ボランティアセンターとしての取組み状況について報告するとともに、ボランティア活動者である運営委員とセンター運営における情報共有や地域課題解決に向けた協議・検討に取り組みました。

第1回	5月30日(水) 委員8名、オブザーバー1名
第2回	8月7日(火) 委員8名、オブザーバー1名
第3回	2月12日(火) 委員8名、オブザーバー1名

#### 2. 相談・活動支援

##### ① ボランティア登録数、相談実績

ボランティア登録数	185団体(延べ3,728人)※サロン83団体含む 個人ボランティア受入登録施設16施設
	個人ボランティア154名 ※アドバイザー、ふれあい隊、災害ボランティア、施設含む

相談実績(相談区分と件数) ※ふれあい受付分

相談区分	新規	継続	延べ	相談区分	新規	継続	延べ
ボランティア依頼	69	145	214	情報提供	6	2	8
ボランティア希望	25	25	50	情報発信	0	0	0
活動支援	7	1	8	その他	2	2	4
				計	109	175	284

## ②ボランティア活動保険・行事用保険等の加入手続き

安心してボランティア活動ができるための基礎環境の整備として、ボランティア活動保険をはじめとした全社協補償制度の加入促進を図りました。

保険の種類	加入件数	加入団体数
活動保険	1,048名	54団体 993名・個人55名
行事用保険	125件	26団体 5,870名
福祉サービス総合補償	6件	6団体 活動従事者128名
送迎サービス総合補償	2件	2団体 法定乗車定員数46名
事故対応件数	活動保険 / 傷害事故 / 請求3件	
	行事用保険 / 物損事故 / 請求0件	
		補償外0件

## 3. 各種団体、施設等との連携による情報共有と課題解決に向けた協議

### ①ボランティアアドバイザー連絡会

ボランティアアドバイザーとしてふれあいフェスティバル実行委員会へ参画し、同フェスティバルにおいてボランティア啓発・相談ブースを出展し、ボランティア活動の啓発を行いました。

登録ボランティアアドバイザー数	3名
-----------------	----

### ②福祉協力校連絡会

福祉協力校間の情報共有を図り、福祉教育活動を推進するための連絡会を開催しました。

連絡会	第1回 6月29日(金)参加20校、第2回 3月29日(金)参加19校 福祉協力校(小学校14校・中学校5校・高等学校1校)
-----	---

### ③ふれあいフェスティバルの開催

ボランティアセンター運営委員会メンバーを含む実行委員会を立ち上げ、ボランティア活動を含む地域福祉活動の啓発や住民同士のつながりの場として開催することで、多くの住民にボランティア活動等について周知することができました。

協力ボランティア団体	ブース出展団体22団体、ステージ発表団体8団体 パネル出展団体31団体
個人ボランティア数	事前説明会 11月16日(金) 前々日準備 11月22日(木) 参加者10名 ふれあいフェスティバル 11月24日(土) 参加者84名
内容	ボランティアグループ活動発表、ブース出展、パネル展示、しあわせの絵はがき展示、スタンプラリー、各種体験等

## 4. 災害、防災への取組み

### ①災害ボランティアセンター支援活動

平成30年7月豪雨(岡山県倉敷市)被害による災害ボランティア活動に取り組み、災害ボランティア依頼の判断基準等必要な検討協議を行いました。

支援活動	8月21日(火) 災害ボランティア16名、社協職員4名 泥出し、がれきの撤去、家財道具の洗浄等
------	--

②名張市や関係機関との連絡会議の開催

災害ボランティアセンター設置マニュアル作成プロジェクト会議として災害ボランティアと名張市とが集い、訓練内容や災害ボランティア活動の判断基準等協議をすすめました。

プロジェクト会議	7月20日(金)、8月28日(火) 計2回
----------	-----------------------

## 5. 福祉まちづくりセンター事業

### 1. 相談、活動支援

#### ①ボランティアコーディネーターによる相談、活動支援

福祉まちづくりセンターはショッピングセンターリバーナ3階に設置され、夜は20時、土日祝も開いていることから、ボランティア相談やボランティア活動保険の加入、助成事業の申込など住民の利便性を高めることができました。

相談実績(相談区分と件数)

ボランティア 相談区分	新規	継続	延べ	ボランティア以外 相談区分	新規	継続	延べ	
ボランティア依頼	61	255	316	情報提供等	88	12	100	
ボランティア希望	26	13	39	社協事業問合せ	847	325	1,172	
活動支援	42	18	60	受付(申込等)	359	35	394	
情報提供	18	0	18	問合せ(軽微なもの)	305	36	341	
情報発信	4	0	4	助成受付	26	12	38	
その他	14	0	14	その他	264	4	268	
計	165	286	451	計	1,889	424	2,313	
							窓口利用者数	1,510

#### ②会議室等利用実績

利用件数	利用団体	利用者数
136件	67団体	1,043人

#### ③イベント企画を通じたボランティア団体等の参画促進

活動者のみならず、広く住民に周知しボランティア活動にふれてもらうため、遊び感覚で参加できるイベントを実施し、センターやボランティア活動の周知に努めました。

イベント開催回数	参加延人数(協力者含む)
408回	3,324人

#### ④イベント等ボランティア活動の場づくり事業

福祉まちづくりセンターコラボレーション事業として、ボランティア団体等と協働でイベントを実施しました。

開催日	イベント内容	参加数
4月29日(祝)	写真立てづくり	7名
5月6日(日)	親子でつくろうアロマミストスプレー	14名
6月24日(日)～ 7月7日(土)	七夕飾りをつくろう	32名

7月15日(日)	大正琴・ゆみ琴・ハーモニカ合同演奏会	27名
7月21日(土)	夏休み竹細工(水鉄砲・竹とんぼ他)づくり	10名
9月24日(月)	親子で宝石みたいな石けんをつくろう!	16名
11月4日(日)	子どもなんでも体験団 きらきらランプシェイドづくり	48名
11月14日(土)	スノードームづくり	7名
12月23日(日)	おもちゃばこ「クリスマス会」	30名
1月27日(日)	ふしぎな手作りおもちゃをつくろう	12名
2月3日(日)	オリジナルガーランドをつくろう!	12名
3月24日(日)	春色リースづくり	12名

## 2. 広報啓発

福まち新聞	月2回(1日、15日) Vol.92~114
情報発信、啓発 (随時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページやフェイスブック、ツイッター</li> <li>・地域の広報紙やボランティアに関するチラシ等の設置</li> <li>・イオン名張店1階名張忍ラウンジでの掲示や館内放送の利用</li> <li>・イオン1階レジ後ろのサッカー台にイベント予定表の設置</li> <li>・センターフロア内にボランティア活動団体紹介のパネル展示</li> <li>・なばボラネットの活用</li> </ul>
地域活動情報紙 「なばりんく」	年6回偶数月 No.43~48 市内43か所に配置 小・中学校213クラスに掲示(一部児童への配布あり) ※なお、No.48をもって発行を終了しました。

## 3. 人材育成

### ①「地域福祉」担い手養成事業の実施

「地域で何か人のために活動してみたい」とこれから地域福祉活動を始めようと考えている方や、現在、市内各地域で地域福祉に取り組んでいただいている方を対象に養成講座を開催しました。

実施講座	内容
生活支援員& 傾聴ボランティア養成講座	第1回10月23日(火) 第2回10月30日(火) 第3回11月8日(木) 第4回11月23日(木) 受講者29名(うち、生活支援員登録者9名、傾聴ボランティア活動希望者10名)
傾聴ボランティア養成講座 フォローアップ研修	傾聴ボランティア施設体験 11月15日(木)~11月30日(金) 選択実習 参加者11名 傾聴ボランティア交流会 12月17日(月) 参加者9名
脳トレ楽習教室	第1クール(10回) 毎月第2・4水曜日 5月9日(水)~9月26日(水) 参加者105名 第2クール(10回) 毎月第2・4水曜日 10月10日(水)~3月13日(水) 参加者107名

スクエアステップリーダー 養成研修 ※再掲	(第1クール) 7月24日(火)、7月25日～8月8日(選択実習)、8月9日 (木) 参加者27名
	(第2クール) 11月20日(火)、11月28日～12月3日(選択実習)、12月4 日(火) 参加者15名
スクエアステップ体験会	10月31日(水) 参加者52名
スクエアステップ教室	4月～3月(全23回) 毎月第2・4水曜日(12月のみ1回) 延べ参加者381名

## ②子育て支援員養成研修の実施

こども支援センターかがやきと連携し、子育て支援や働く女性のための支援活動を実施しました。

実施講座	内容
子育て支援員養成研修	6月4日(月)～7月11日(火) 7日間 参加者77名
子育て支援員研修 (放課後児童コース)	12月3日(月)～12月5日(水) 参加者34名
託児実習	7月8日(日)～12月9日(日) 実習生15名、託児24名

## 4. 傾聴ボランティアの実践活動

毎月定例会を開催して活動状況や気になることなどを共有し、傾聴ボランティア活動支援を行いました。

活動月	4月～3月(定例会:毎月1回)
活動延べ人数	302名(実活動者18名)
訪問施設数	4月～9月5施設×6か月 10月～3月6施設×6か月

## 5. 地域福祉教育

### ①子どもたちのボランティア活動機会の提供

社会福祉施設を利用している人々や職員と共に活動し、交流を深め、子どもたちがボランティア活動へ参画するためのきっかけづくりを実施しました。

ふれあい隊	昭和保育園 8月10日(金) 参加6名
	世代間交流事業 ～鮎のつかみ取りのお手伝い～ 赤目四十八滝キャンプ場 8月19日(日) 参加2名
ふれあい活動	参加校:つつじが丘小学校、活動施設:昭和保育園 8月2日(木) 児童5名、8月3日(金) 児童5名
	参加校:つつじが丘小学校、活動施設:はなの里 つつじが丘 8月6日(月) 児童7名、8月7日(火) 児童7名

### ②福祉体験(出前講座)の実施

児童・生徒に各種体験学習を出前講座として実施し、障害等についての気づきや理解を深めるとともに児童・生徒が自らの生活の中でできることを考える場を提供することができました。



10月9日(火)～10日(水)	名張中学校 1年生	車イス体験・アイマスク体験
1月17日(木)	箕曲小学校 4年生	車イス体験・アイマスク体験

## 6. 交流活動

### ①おもちゃ図書館サロン事業「おもちゃばこ」の開催

おもちゃばこ	第2・4日曜日(保護者 188名 子ども 229名)
--------	----------------------------

### ②家族介護者の会「楓の会」共催による事業実施

さくら喫茶	毎月1回(計10回) 参加者 99名
介護者のつどい	3月20日(水) 施設見学と食事会 参加者 20名(楓の会 9名、一般 11名)

### ③市内障害者福祉施設等による「福祉のおみせ」の出店支援

出店団体	名張育成園ういず、Kobo れもんぐらす、アガペの家
------	----------------------------

## 6. 福祉団体等当事者活動支援

### 1. 福祉団体等との連携・協働の強化、当事者活動支援

#### ①福祉団体の自立運営支援と協働

各福祉団体(老人クラブ連合会、身体障害者互助会、遺族連合会、保護司会)との「事務に関する覚書」を本年度も締結し、団体運営に必要な事務補助や各会議の日程調整等各福祉団体と連携した支援により、各団体活動が円滑に実施することができました。

#### ②家族会等の活動支援

##### ア. 家族介護者の会「楓の会」運営支援

家族介護者の会「楓の会」事務局運営支援とともに「さくら喫茶」や「介護者のつどい」を共催で行いました。

##### イ. 精神障害者家族会「なばるの会」との連携

家族会との連携を図るため、毎月1回定例会に出席し情報提供や活動支援に取り組みました。

##### ウ. 障害者スポーツ大会実行委員会事務局運営支援

3障害(知的・精神・身体)を代表する団体が主体となり関係機関・団体等が参画して組織する「障害者スポーツ大会実行委員会」の事務局として、大会運営並びに開催支援を行いました。

9月29日(土)	参加者 366名、実行委員・協力者等 95名 実行委員会(全4回)、臨時三役会(1回) 悪天候時対応協議
----------	---

#### ③追悼式開催支援

各地域づくり組織や地区遺族会主催における追悼式開催へ助成を行いました。(9地区)

④交流活動

ア. みんなでいっしょに唄いませんかの開催

高齢者や障害者、子育て中の親子等住民を対象に開催し、音楽を通じ世代を超えた交流と社会参加の場を住民に提供しました。なお、平成 17 年度の事業開始時と比べサロン等、唄を通じた交流の場が各地で多数行われるようになったことから、本年度をもって終了としました。

実施内容	毎月 1 回(計 12 回) ふれあいホール 441 名(初参加 16 名)
------	--

イ. おもちゃ図書館の運営

開館日数	193 日
利用者数	1,697 名(大人 735 名、子ども 962 名)初来館 26 組
協力ボランティア	2 名(活動日数 3 日)

2. 社会福祉協議会組織構成会員の増強

社協会費実績	6,060,354 円
組織構成会員	第 1 種～第 8 種 207 団体
地域づくり組織活動助成金	4,960,620 円

3. 共同募金配分事業、歳末たすけあい運動配分事業

①名張市共同募金委員会の運営

住民参画による共同募金運動をすすめるため、三重県共同募金会とともに「名張市共同募金委員会」活動を展開しました。

運営委員会	委員 10 名 開催 4 回、監事 2 名 監査 1 回
-------	------------------------------

②共同募金運動の展開

ア. 地域づくり組織とともに、戸別募金への協力と活用周知

各地域づくり組織の会合等において、募金協力依頼と活用についての説明を行い、理解と協力をお願いしました。

イ. 共同募金実績 9,637,128 円

募金の種類	実施、協力依頼等の内容
戸別募金	1 世帯あたり 500 円を目安に、全世帯に協力を依頼
街頭募金	市内スーパー等 13 店舗にて 30 ヶ所実施(協力 157 人)
法人募金	市内の企業等へ依頼(依頼 284 法人、協力 108 法人)
学校募金	小学校 14 校、中学校 5 校、高校 2 校、高等専門学校 1 校
職域募金	市や小中学校をはじめ、市内の社会福祉法人や企業等の職員へ依頼(依頼 41 職域、協力 32 職域)
イベント募金	イベントでの募金箱設置や模擬店による啓発(12 ヶ所 25 日間)
個人募金	個人での協力や、バッジ等の共同募金啓発グッズ、募金機能付き自動販売機やマッサージ機利用による募金並びに、ボランティア活動の場や店舗・市役所等への募金箱設置(協力 71 件)
UMOU募金	主に市内から羽毛製品の回収 41 点

ウ. 歳末たすけあい募金実績 2,923,059 円

募金の種類	実施、協力依頼等の内容
戸別募金	1世帯あたり100円を目安に、全世帯に協力を依頼
個人募金	名張市仏教会様、個人3名様より寄附
法人募金	法人1社より寄附

エ. 法人募金、職域募金、学校募金の協力拡大

伊賀タウン情報ユーのご協力により、法人募金の拡大に向けた取り組みをすすめました。また、平成30年度は、多様な人・団体・機関で創る共同募金運動の仕組みづくりとして、地域住民に対し、自分たちの住んでいる地域や普段の暮らしに目を向けてもらうことを目的に、「赤い羽根でつなぐしあわせの絵はがき」を企画、実施しました。

赤い羽根でつなぐしあわせの絵はがき	募集テーマ「広がれ！みんなのしあわせ赤い羽根」
	普段の暮らしの中で、助け合いそして誰かとつながっていること と感じた「しあわせ」な瞬間を絵はがきに表現してもらう ・応募総数169件（小学校、放課後児童クラブ、個人他） ・9月11日（火）選定委員会により優秀作品10点を選定 ・ふれあいフェスティバル、福祉まちづくりセンターで掲示

オ. 災害義援金の呼びかけ、受付

災害支援のため、市役所等への募金箱設置や義援金の受付を行い、三重県共同募金会を通じて送金し、被災地支援に取り組みました。

災害名	受付期間	本年度送金額
平成28年熊本地震義援金	H28.4.15～R2.3.31	19,961円
大阪府北部地震義援金	H30.6.22～H30.9.28	133,009円
北海道胆振東部地震災害義援金	H30.9.12～R1.9.30	505,795円

③助成事業を通じた活動支援

ア. 地域福祉活動助成事業の実施

各財源に基づく委員会等での審査・決定により、地域福祉活動団体への活動助成を通じ、支援を行いました。平成29年度の募金運動実績に基づき本年度7,276,641円の配分を受け、地域福祉活動への助成支援並びに市社協事業に活用しました。

助成内容	金額
地域づくり組織が取り組む福祉活動	1,356,230円
地域福祉活動助成事業	5,081,400円
市社協事業	839,011円

地域福祉活動助成事業

事業名	助成額	財源
地域見守り配食事業	1,051,400円	共同募金配分金 (7)
	419,900円	善意銀行寄付金 (3)
地域見守り事業	2,550,000円	共同募金配分金 (79)

ひとり暮らし高齢者のつどい事業	347,150 円	補助金 (11)
ボランティア活動事業	985,000 円	共同募金配分金 (28)
福祉協力校活動事業	495,000 円	共同募金配分金 (20)
当事者・家族会活動事業	210,000 円	善意銀行寄付金 (7)

#### イ. 歳末たすけあい運動配分事業

本年度は2,923,059 円の募金協力と配分を受け、歳末たすけあい運動配分事業及び広報啓発事業への活用として全額配分しました。

### 4. 善意銀行事業

#### ①適正な運用管理

住民からの寄附を受け効果的に配分・活用することを目的として、善意銀行の運営を行いました。

#### ア. 名張市善意銀行運営委員会

6月5日(火)	平成29年度寄附の受領実績と配分について 平成29年度地域福祉活動助成事業にかかる完了の認定について 平成30年度事業計画(補正案)について 平成30年度地域福祉活動助成事業にかかる審査について
3月15日(金)	平成30年度寄附状況と配分(支出)状況について 平成31年度事業計画(案)について

#### イ. 寄附受領実績

種別	件数	金額
現金の寄附	18件	754,012 円

#### ②計画的な運用

事業内容	金額	備考
(1) 罹災者救援要綱に基づく見舞金	20,000 円	火事見舞(全焼)1件
(2) 地域見守り配食事業	419,900 円	3団体
(3) 福祉活動備品整備事業	0 円	0団体
(4) 当事者・家族会活動事業	210,000 円	7団体
(5) 車イス一時貸出事業	96,876 円	修理、部品交換3台消毒19台
(6) 平成30年度7月豪雨災害地支援事業	86,598 円	
計	833,374 円	

### 5. 日本赤十字社名張市地区事業

#### ①赤十字運動月間における赤十字活動の周知と活動資金の募集

日本赤十字社の人道的諸活動を行うための活動財源として、地域づくり組織を通して、全世界帯を対象に一世帯あたり500円を目安にお願いしました。

## 日赤活動資金の実績

活動資金の内容	金額
各世帯	6,752,621 円
法人	579,000 円
個人・寄附箱	31,526 円
合計	7,363,147 円

### ②活動資金募集にかかる地域づくり組織への協力依頼

4月から6月にかけて15地域の会合に出向き、年間通じて取り組む各種資金募集への協力を依頼しました。

### ③地域づくり組織への福祉活動助成、講習会開催の促進

地域づくり組織における福祉活動支援として、日赤交付金より667,700円を助成しました。また、市内のさまざまなイベントの開催に際し、日本赤十字社三重県支部より救護要員の派遣を5回、赤十字講習会の講師派遣を4回行いました。

### ④災害義援金の呼びかけ、受付

災害支援のため、市役所等への募金箱設置や義援金の受付を行い、日本赤十字社を通じて送金し、被災地支援に取り組みました。

災害名	受付期間	本年度送金額
東日本大震災義援金	H23. 3. 14～H31. 3. 31	7,550 円
平成30年度7月豪雨災害義援金	H30. 7. 10～R1. 6. 30	2,236,285 円

## 6. 名張市社会福祉協議会窓口サービスの向上

社協に寄せられるさまざまな問合せや相談等に対応し、窓口サービスの向上に努めました。

### ①地域福祉活動支援備品の貸出

地域福祉活動を支援するため、活動に役立つ各種備品を貸出しました。

貸出件数	426 件 プロジェクターや模擬店機材等(337 件) 地域福祉教育備品(31 件)、 楽器等(64 件)
利用団体数	延べ 143 団体

### ②車イス無料貸出事業

市民団体や企業等から寄贈いただいた車イスを、名張市にお住まいでケガ等により一時的に必要とされる方への支援として延べ140件貸出をしました。

使用目的	貸出件数
通院や通学のため	45 件
買物等行楽のため	74 件
自宅内での移動のため	21 件

## ウ. なばり暮らしあんしんセンター

### 1. 福祉サービス利用援助事業

#### 1. 日常生活自立支援事業

なばり日常生活自立支援センターの相談件数は、前年度より 20 件増加し、新規契約の締結は 10 件でした。実利用人数は 4 名増加し、63 名になりました。認知症や知的障害、精神障害等で判断能力に不安のある方々の本事業利用希望は増加傾向にあります。契約終了件数については 6 件で、後見人等への引継ぎは 2 件、次いで転居 1 件・施設入所 2 件・死亡 1 件となっています。成年後見事業を始め、市内関係機関と連携し切れ目のない権利擁護支援を推進しました。

##### ①相談援助件数等

事項/対象者	認知症 高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	不明・その他	合計
問合わせ件数	1	0	1	2	4
初回相談件数	13	11	6	5	35
相談援助件数	816	2,312	1,885	352	5,365
契約締結件数	4	4	2	0	10
終了件数	2	1	3	0	6
実利用人数 (30 年度末)	11	28	22	2	63

##### 実利用者数の推移

年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
実利用者数	52	56	64	59	63

##### ②生活支援員活動の推進

生活支援員 担当件数	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	不明 その他	合計
	10	27	22	2	
活動者 22 名(登録者 29 名、内新規 5 名)					
生活支援員による支援 61 件/63 件 支援員対応率 97%					

##### ③「地域福祉」担い手養成研修 ～生活支援員養成講座～ の開催

福祉まちづくりセンター事業と合わせて「生活支援員&傾聴ボランティア養成講座」を開催しました。

講座日程	10月23日(火)、10月30日(火)、11月8日(木)、11月21日(木) 受講者数 10 名、生活支援員登録者数 10 名
------	--

##### ④生活支援員定例会と研修会の開催

現在活動中の生活支援員を対象に、定例会と研修を行いました。

第 1 回 9 月 6 日(木)	・施設見学(通所介護&介護予防通所介護半日型リハビリテーション「かんプロチア CLUB 希中央」)
------------------	---

第2回 11月6日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>三重県社協主催「生活支援員研修会」</li> <li>講演 「知って納得！こころの病気とその支援」 ～関わり方・考え方・支援制度～</li> <li>パネルディスカッション「支援のあり方を考える」</li> </ul>
第3回 3月14日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケース記録の書き方について</li> </ul>

## 2. 関係機関等との連携

### ①関係機関との連携

契約締結審査会のほか、権利擁護に関する各種協議会、連絡会等において、関係機関との情報共有や支援連携を実施しました。

会議等への参画	<ul style="list-style-type: none"> <li>三重県社協日常生活自立支援事業契約締結審査会（毎月）</li> <li>障害者理解にかかる啓発授業（11/9）</li> <li>地域共生社会研修会（12/26）</li> <li>地域ケア会議、カンファレンスへの参加（54回）</li> </ul>
---------	--

### ②資質向上にむけた研修会等への参加

研修会への参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>2018年度地域福祉（活動）計画の策定・推進に関する研修会（6/6）</li> <li>日自事業専門員実践力強化研修会 I（7/17～18）</li> <li>東海北陸ブロック市区町村社協職員研究集会（11/26～27）</li> <li>地域共生社会の構築に向けた全世代型地域包括ケアと包括的支援体制のあり方を探る（3/9）</li> </ul>
---------	---

## 2. 成年後見事業

### 1. 法人後見事業の運営

#### ①法人後見等の受任

親族関係や経済的な理由等により適切な後見人等を得られない方々に対して、法人が後見の受任をし、財産管理や身上監護を行うことで、安心して生活ができるよう支援をしました。

（平成30年度受任件数：後見6件、保佐2件）

支援実績	来所	訪問	電話	合計
後見(6件)	42	320	577	939
保佐(2件)	19	111	213	343

※被後見人2名（2月に1名、3月に1名）は死亡により支援を終了しています。

#### ②法人後見受任委員会の開催

法人後見受任の検討や適切な法人後見業務の実施のため、法人後見受任委員会を市内外の法律関係者、学識経験者、民生委員・児童委員、名張市等の参画のもと3回開催しました。

開催回数・日程	検討項目
第28回 6月1日(金)	1. 法人後見受任者の経過報告と支援計画について 2. 法人後見視察研修について 3. 名張市における法人後見受任体制あり方検討会について
第29回 11月30日(金)	
第30回 3月5日(火)	

### ③研修等への参加による職員の資質の向上

研修等に参加し、専門的知識を深め支援の質の向上に努めました。

研修会参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人後見従事者養成研修（7/11、9/12）</li> <li>・コミュニティに強いソーシャルワーカー養成研修（11/10～11）</li> <li>・成年後見制度利用促進時業市町担当職員等研修会（1/28）</li> </ul>
出前講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比奈知高齢者学級（9/27）</li> <li>「自分のために成年後見制度を知っておく」</li> </ul>

### ④法人後見支援員の育成・活用

被後見人等の居所訪問を行う法人後見支援員を育成し、法人の強みである身上監護面の対応を中心に法律関係者等と連携して法人後見業務に取り組みました。

（法人後見支援員数：5名／担当件数6件）

## 2. 名張市における法人後見受任体制のあり方検討

成年後見制度の将来需要に対応するための受任体制の整備にむけ、地域住民、関係団体、名張市の協力を得て、成年後見制度を取り巻く現状と課題、法人後見の意義・特徴・課題を整理し、名張市における法人後見受任体制について視察研修と検討を行いました。

日程	活動内容
12月17日(月)	先進地視察 視察先：品川成年後見センター（品川区社協）
1月21日(月)	先進地視察 視察先：権利擁護・市民後見センター「らいと」（北九州市社協）
2月27日(水)	名張市における法人後見受任体制あり方検討会 参加者：10名（名張市職員、名張市手をつなぐ育成会、名張市精神障害者家族会 なばるの会）

## 3. 相談支援体制の強化

関係機関等と情報、支援方針を共有し、チーム支援に取り組む体制強化を推進しました。

地域ケア会議等関係機関との協議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊賀地域福祉後見サポートセンター（運営委員会3回、名張市地域包括支援センター情報交換会9回）</li> <li>・成年後見制度利用促進に関する情報交換会</li> <li>・津家庭裁判所伊賀支部との連絡会</li> <li>・地域ケア会議、カンファレンスへの参加7回</li> </ul>
-----------------	--

## 4. 権利擁護に関する総合相談

関係機関と連携しながら、成年後見制度の申立や高齢者及びその家族からの先々の生活不安への相談等に関する相談支援を行いました。

相談・対象区分	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	不明その他	合計
新規相談	1	3	1	2	7
継続相談	2	0	0	3	5
問合せ	0	0	0	3	3



### 3. 生活困窮者自立支援事業

さまざまな生活課題を抱える生活困窮者に対し、仕事に関する問題、金銭に関する問題、健康の問題、家族の問題等、本人と共に課題を整理することで、目標を定めて支援プランを作成し、包括的かつ継続的な支援を実施しました。また、被保護者に対する自立支援も実施することで、切れ目のない一体的な支援を行いました。

本年度は特に、民生委員・児童委員、まちの保健室職員の方に具体的な支援方法について情報提供を行いつつ、連携強化を図りました。

#### 1. 相談支援体制の基盤強化

生活困窮者自立支援事業の専門相談員の確保を図るとともに、相談援助職として必要となる知識・技術等の向上のため、研修会に参加し、相談員の資質向上を図りました。

また、社協が持つ日常生活自立支援事業や福祉資金貸付事業、居宅介護支援事業等との協働を図るとともに、市内社会福祉法人をはじめとする地域のネットワークを活用し、支援体制の基盤強化を図りました。

研修会参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自立相談支援事業従事者養成研修 (9/3～5、11/19～21)</li> <li>・ 家計改善支援事業従事者養成研修 (9/25～27、12/11～12)</li> <li>・ 就労準備支援事業従事者養成研修 (6/18、10/3～5)</li> <li>・ 生活困窮者相談事例検討会 (10/29)</li> <li>・ 生活困窮者自立支援全国研究交流大会 (11/10～11)</li> <li>・ 主任相談支援員意見交換会 (11/30、2/25)</li> <li>・ グリーンコープ共同体家計改善事業所実習研修 (12/11～12)</li> <li>・ 職業紹介責任者講習会 (6/21、7/24)</li> </ul>
-------	--

#### 2. 必要な方へ必要な情報を届けるための周知啓発

生活困窮者自立支援事業に関する事業啓発を民生委員・児童委員、まちの保健室職員に向けて行い、連携方法等について協議しました。

周知啓発の取組み (地区民児協)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 名張地区 8/25</li> <li>・ 蔵持地区 8/18</li> <li>・ 北部地区 7/28</li> <li>・ 比奈知地区 7/21</li> <li>・ 錦生赤目地区 7/20</li> <li>・ 箕曲地区 8/25</li> <li>・ くにつつじ地区 8/20</li> <li>・ 桔梗が丘地区 7/20</li> </ul>
---------------------	--

#### 3. みえ福祉の「わ」創造事業 食糧提供支援等実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
緊急食糧提供事業	4	7	5	3	5	6	6	3	1	7	4	4	55
緊急時物品等支援事業	1	1	1	3	0	0	0	0	1	0	0	0	7
合計	5	8	6	6	5	6	6	3	2	7	4	4	62

#### 4. 三重県居住支援連絡会への参画

三重県あんしん貸付支援事業実施要領に基づき、名張市とともに、居住支援団体として三重県に登録し、三重県居住支援連絡会の活動に参画しました。

2月16日(土)	名張市主催「すまいの活用相談会」にてブース出展協力
----------	---------------------------

## 5. 自立相談支援事業

一人ひとりに寄り添った丁寧なインテークから、本人と共に、本人が抱える課題を整理し、プランに基づく支援をコーディネートし、自立に向けた支援を実施しました。

### ①相談件数(延べ件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	8	34	26	28	48	27	27	43	45	46	40	43	415
訪問	1	6	6	11	15	11	16	18	13	17	9	22	145
来所	9	15	23	25	12	16	38	21	14	23	21	16	233
合計	18	55	55	64	75	54	81	82	72	86	70	81	793

### ②支援調整会議の開催

支援内容を検討し、支援の可否を判断するとともに、地域における課題の共有と改善を目的として、支援調整会議を原則月1回、関係機関と定期的に開催しました。

#### 支援決定件数

	4月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	0	3	2	2	2	2	3	0	5	1	12	32
評価・再プラン	4	1	3	0	2	0	0	0	2	1	0	13
モニタリング ・検討	6	3	0	0	1	0	2	0	1	1	3	17
報告・終結	0	8	2	4	4	6	2	1	2	2	4	35
合計	10	15	7	6	9	8	7	1	10	5	19	97

### ③生活保護受給者等就労自立促進事業の実施

離職者等に対し、生活保護に至る前の段階で就労支援等を実施しました。

	20代	30代	40代	50代	60代	就職率
男性	0名	0名	1名	1名	0名	50%
女性	0名	0名	0名	0名	1名	0%

## 6. 就労準備支援事業/被保護者就労準備支援事業

すぐには就労することが困難な生活困窮者及び被保護者に対し、以下の支援を段階的に実施することで、支援ニーズに合致したメニューを提供することが可能となり、一人ひとりに寄り添ったきめ細かな支援を実施することができました。

### ①支援実施状況

- ・一般就労に向けて生活習慣の改善等を促す生活自立支援
- ・コミュニケーション能力や社会参加能力を養う社会自立支援
- ・就労に関するスキルやマナーを習得する等の就労自立支援

ア. 就労準備支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	1	0	0	11	27	18	12	14	7	4	12	5	111
訪問	0	0	0	2	12	14	9	14	2	0	1	0	54
来所	0	0	0	4	9	4	4	3	1	5	4	2	36
体験	0	0	6	21	12	6	4	2	7	7	6	4	75
合計	1	0	6	38	60	42	29	33	17	16	23	11	276

※体験には見学も含む

イ. 被保護者就労準備支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	13	10	10	8	10	13	5	8	3	3	4	0	87
訪問	0	0	0	0	0	3	6	7	9	0	0	1	26
来所	0	0	0	0	0	2	0	0	3	0	0	3	8
体験	3	8	8	8	6	14	21	27	40	17	23	15	190
合計	16	18	18	16	16	32	32	42	55	20	27	19	311

※体験には見学も含む

②協力事業所における就労体験

地域内の事業所より協力を得て、各事業所で行う業務の一部を継続的な就労体験の場として提供し、社会経験を蓄積することで、社会的能力の形成のための支援を行いました。

支援実施状況(延件数)

事業所名	体験	見学	事業所名	体験	見学
隠おたがいさん	0	0	ASA ネットワーク 桔梗が丘西部	23	1
あぐりの杜	14	0	NPO 法人アガペの家	168	4
特別養護老人ホーム国津園	0	0	株式会社ユー	88	1
名張特別養護老人ホーム	7	2	7事業所 合計	300	8

7. 家計改善支援事業 (旧家計相談支援事業)

①家計再生のための分析や再建プランの提案

公共料金や家賃の支払いが計画的に行えない等の家計に関する生活課題を抱えている相談者に対して、家計に特化した専門的な助言・指導を行うことで、相談者が主体的に家計管理に取り組めるよう、早期の自立を目指した支援を実施しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
提案件数	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	3	6

②債務整理に関する支援

多重債務解決支援プログラムを活用し、債務整理に関する伴走型の支援を行うとともに、多重債務に至った背景に目を向け、これまでの家計管理を見直し、生活再建に向けた支援を実施しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支援件数	0	1	0	0	0	0	2	1	3	5	3	3	18

### ③貸付の斡旋

離職等により一時的に生活を維持することが困難となった生活困窮者に対し、就労支援と家計支援を併用し、再就職後の初回給料のつなぎ資金を斡旋する等、伴走型支援に合わせて貸付を利用することで、効果的な自立支援を実施しました。また、「貧困の連鎖」を防ぐべく、教育支援資金の斡旋も積極的に行いました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
斡旋件数	1	2	1	2	0	0	1	1	0	2	0	1	11

### ④支援実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	24	8	8	3	3	1	0	2	2	7	18	10	86
訪問	6	0	3	0	2	1	0	3	3	2	11	12	43
来所	6	1	0	2	1	0	0	0	0	3	2	4	19
合計	36	9	11	5	6	2	0	5	5	12	31	26	148

## 8. 被保護者就労支援事業

### ①切れ目のない一体的な支援

被保護者に対する就労支援を生活困窮者の支援と一体的に行うことで、切れ目のない一貫した支援を継続的に実施することができました。

相談件数（延べ件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	7	1	1	14	1	0	2	0	1	1	0	0	28
訪問	2	0	0	0	0	3	1	1	0	1	0	0	8
来所	0	0	1	0	1	0	0	3	0	0	0	0	5
合計	9	1	2	14	2	3	3	4	1	2	0	0	41

### ②稼働能力判定会議の開催

自立相談支援事業の支援調整会議と一体的に運営することで、支援の質を確保し、また、情報の共有も容易になったことから、両事業で連携した支援が可能となりました。

支援決定	7月 1件、 8月 1件、 9月 1件、 3月 2件	合計 5件
その他・協議	4月 1件、 6月 1件、 7月 1件、 9月 1件、 10月 2件、 1月 2件、 3月 1件	合計 9件

## 4. 生活福祉資金等貸付事業

生活困窮者が社会生活を営むなかで、不時の出費を必要とする場合に、社会の一員として円滑な

社会生活を送れるよう、民生委員・児童委員や名張市社会福祉事務所、三重県社協と連携して貸付事業を行いました。

### 1. 地域福祉金庫貸付事業

#### ①地域福祉金庫貸付事業

生活困窮者等に対して、3万円を上限とした緊急的な貸付支援を行い、社会生活を送れるよう自立相談・償還指導を行いました。また、生活保護受給者（申請中含む）に対しては、効果的な貸付けを行うため社会福祉事務所との連携・調整をしました。

貸付金額	1,146,564円(62件)
償還額	1,134,564円(64件)
未償還額(過年度分含む)	1,093,500円(55件)

#### ②名張市国民健康保険出産費資金貸付事業

国民健康保険に加入しており、出産育児一時金の支給を受けることができる世帯に対して貸し付ける制度であり近年は償還業務のみとなっておりますが、償還を受け本年度終了しました。

過年度分	償還額	45,000円	未償還額	0円(0件)
------	-----	---------	------	--------

### 2. 生活福祉資金貸付事業

障害者世帯・高齢者世帯・比較的所得が少ない世帯(低所得世帯)に対して、資金の貸付を行う事により経済的自立や生活意欲の助長促進を図りました。

近年、複合的な生活課題を抱え、相談に来られる方が多いので、経済的支援に併せて生活困窮者自立支援事業と連携することにより自立支援や社会参加を図ることができました。

#### ①相談及び貸付内容

資金の種類	相談件数 (実数)	相談件数 (延数)	貸付件数	貸付金額	
総合支援資金	3	10	0	0円	
福祉資金	療養費・介護費	4	8	0	0円
	福祉費	21	75	5	404,284円
	福祉費(住宅)	6	9	0	0円
	障害者自動車購入費	14	128	4	1,560,000円
	生業費	4	7	0	0円
	技能習得費	2	5	0	0円
	緊急小口資金	33	202	6	420,000円
教育支援資金	22	195	4	4,174,000円	
不動産担保型生活資金	5	27	0	0円	
その他	3	8	0	－円	
合計	117	674	19	6,558,284円	

#### ②長期滞納者面談

面談日(面談者数)	5月23日(水)・6月5日(火)・10月3日(水)・1月8日(火) 計4件
-----------	---------------------------------------

## II 【在宅福祉サービス拠点】（介護支援課）

「在宅福祉サービス拠点」は、介護支援課における介護保険関連3事業（老人デイサービス事業・訪問看護事業・居宅介護支援事業）を総括した区分です。

重点目標	事業実績		
1. 経営管理体制の整備	【経営目標の達成】		
		当初見込み	年間実績
	老人デイサービス事業	25.5名/日平均	22.6名/日平均
		・中重度者（要介護3以上）の比率が60%以上と高く、利用者の死亡・入院・施設移行等の変動値が高く、日平均利用者減となりました	
	訪問看護事業	296.8件/月延訪問	182.8件/月延訪問
	居宅介護支援事業	207件/月	179件/月
	全体共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3事業ともに中重度者（要介護3以上）の受入れを積極的には行ってきましたが、利用者の入所・入院・死亡といった変動係数が高く、実利用者数が確保できなかったことと、専門人材の確保が計画通りに進まなかったことが主な要因と言えます</li> <li>・次年度については専門人材の配置と課内専門職の連携・協働体制等の工夫等による、機能訓練等の軽中度者へのサービス提供や、事務の省力化等による生産性の向上を図り、健全経営に向けた基盤整備を図っていきます</li> </ul>	
	【課内経営管理体制の強化】		
事業運営管理会議	課長・各事業管理者	15回/年	
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課長と各事業所管理者との打合せの定例化</li> <li>・各事業所による運営会議及び専門別課題別会議の開催</li> </ul>		

	<p>等により、事業経営課題（サービス管理・職員管理・業績管理等）の共有と事業区分を超えて総合的な協議・対応に努めました</p>															
<p>2. 業務の標準化</p>	<p><b>【業務評価視点の醸成】</b> 三重県版介護保険事業自主点検シートによる運営基準・人員基準、各種加算内容の点検を行い、法令遵守の徹底に努めました</p> <p><b>【サービス向上検討委員会の実施】</b> サービス向上及び介護事業推進における共通課題について、事業所の枠を超えて共有・検討する場を設け、よりよいサービス提供の取組みに努めました</p> <table border="1" data-bbox="491 678 1393 898"> <tr> <td data-bbox="499 689 834 790">サービス向上検討委員会</td> <td data-bbox="842 689 1161 790">課長・各事業所管理者及び主任</td> <td data-bbox="1169 689 1385 790">12回/年</td> </tr> <tr> <td data-bbox="499 801 834 846"></td> <td data-bbox="842 801 1161 846">感染対策委員会</td> <td data-bbox="1169 801 1385 846">5回/年</td> </tr> <tr> <td data-bbox="499 857 834 898"></td> <td data-bbox="842 857 1161 898">機能訓練推進PJ</td> <td data-bbox="1169 857 1385 898">5回/年</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="499 909 1385 1055"> <tr> <td data-bbox="507 909 722 1055">介護支援課研修の企画実施</td> <td data-bbox="730 909 1377 1055">介護支援課すべての職員を対象とした研修を企画し、知識・技術の向上だけでなく、多職種連携基盤の整備に努めました</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="499 1066 1385 1211"> <tr> <td data-bbox="507 1066 722 1211">感染対策委員会の設置</td> <td data-bbox="730 1066 1377 1211">研修会の実施、注意喚起、法人全体への共通ルールの提言等、年間計画に基づく感染対策の推進を行いました</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="499 1223 1385 1480"> <tr> <td data-bbox="507 1223 722 1480">機能訓練事業推進プロジェクトチームの設置</td> <td data-bbox="730 1223 1377 1480">老人デイサービス事業及び老人福祉センター事業との協働による「機能訓練事業」の実施に向けたプロジェクトチームを立ち上げ、事業実施に向けた課題整理及び対応策の検討、必要様式の整備等に努めました</td> </tr> </table>	サービス向上検討委員会	課長・各事業所管理者及び主任	12回/年		感染対策委員会	5回/年		機能訓練推進PJ	5回/年	介護支援課研修の企画実施	介護支援課すべての職員を対象とした研修を企画し、知識・技術の向上だけでなく、多職種連携基盤の整備に努めました	感染対策委員会の設置	研修会の実施、注意喚起、法人全体への共通ルールの提言等、年間計画に基づく感染対策の推進を行いました	機能訓練事業推進プロジェクトチームの設置	老人デイサービス事業及び老人福祉センター事業との協働による「機能訓練事業」の実施に向けたプロジェクトチームを立ち上げ、事業実施に向けた課題整理及び対応策の検討、必要様式の整備等に努めました
サービス向上検討委員会	課長・各事業所管理者及び主任	12回/年														
	感染対策委員会	5回/年														
	機能訓練推進PJ	5回/年														
介護支援課研修の企画実施	介護支援課すべての職員を対象とした研修を企画し、知識・技術の向上だけでなく、多職種連携基盤の整備に努めました															
感染対策委員会の設置	研修会の実施、注意喚起、法人全体への共通ルールの提言等、年間計画に基づく感染対策の推進を行いました															
機能訓練事業推進プロジェクトチームの設置	老人デイサービス事業及び老人福祉センター事業との協働による「機能訓練事業」の実施に向けたプロジェクトチームを立ち上げ、事業実施に向けた課題整理及び対応策の検討、必要様式の整備等に努めました															
<p>3. 専門性の向上と人材育成・定着</p>	<p><b>【介護職員新人育成プログラムの見直し】</b> 未経験者や経験の少ない介護職員に対する育成プログラムを見直し、職員定着と稼働率の向上に努めました</p> <p><b>【24時間対応事業所の手当見直し】</b> 訪問看護事業所における「待機手当」の見直し及び深夜勤務発生時の連続勤務の緩和策を創設し、より実情に沿った環境整備に努めました</p> <p><b>【介護支援課主催職員研修会の実施】</b> 職員育成・定着に向け、「チームケアと職員間の相互理解」をテーマに、下記の研修会を実施しました</p> <table border="1" data-bbox="459 1984 1361 2033"> <tr> <td data-bbox="467 1995 579 2033">第1回</td> <td data-bbox="587 1995 738 2033">5/22(火)</td> <td data-bbox="746 1995 1353 2033">介護保険制度改正研修会</td> </tr> </table>	第1回	5/22(火)	介護保険制度改正研修会												
第1回	5/22(火)	介護保険制度改正研修会														

第2回	6/12(火)	利用者理解：ICF 基礎研修
第3回	7/24(火)	利用者理解とチームケア：事例検討会
第4回	8/17(金)	理学療法士による機能訓練事業研修
第5回	9/19(水)	感染対策研修会

※「多職種連携」を法人全体で進めていくことも目的に、地域福祉課職員にも研修参加を促し、課を越えた交流・相互理解の場を確保しました

※その他、事業所ごとに必要な研修会・事例検討会の企画実施及び外部研修会へ参加し、職員個々の資質向上に努めました

### Ⅲ 【昭和保育園拠点】 (昭和保育園)

#### 1. 事業の概要

##### 1. 保育目標

昭和保育園の めざす子ども像	心身ともに健康な子ども ～よく寝て、よく食べ、よく遊ぶ子ども～ ○体力のある子ども ○意欲のある子ども ○友だちと感じあえる子ども
-------------------	--

##### 2. 保育実績

保育人数	0歳児 12名、1歳児 16名、2歳児 22名 3歳児 25名、4歳児 25名、5歳児 29名 合計 129名
土曜日保育	延べ 1,856名 平均 39名/週

##### 3. 年間行事 (園行事)

4月 5日(木)	はじまりのつどい	11月 10日(土)	親子遠足
4月 6日(金)	花見	11月 29日(木)	キッズスクール
4月 20日(金)	よもぎ摘み (5歳)	12月 15日(土)	生活発表会
5月 25日(金)	春の遠足	12月 21日(金)	冬のお楽しみ会
6月 9日(土)	やなせまつり	12月 26日(水)	もちつき
6月 19日(火)	交通安全教室	12月 28日(金)	修業式
7月 6日(金)	七夕会	1月 4日(金)	新年の集い
7月 17日(火)	プール開き	1月 15日(火)	早寝早起き朝ごはん
7月 27日(金)	夏のお楽しみ会	2月 5日(火)	春のつどい
8月 4日(土)	お久し振り1年生	2月 7日(木)	修了記念撮影
8月 8日(水)	プール自由参観	2月 13日(水)	焼き芋会
8月 9日(木)			
8月 9日(木)	親子反戦映画会	3月 1日(金)	交通安全教室



10月 13日(土)	運動会	3月 6日(水)	一日入園
10月 16日(火)	芋ほり	3月 8日(金)	お別れ会
10月 28日(日)	秋祭り親子神輿	3月 26日(火)	卒園式
10月 31日(水)	秋の遠足	3月 28日(木)	修了式

## 2. 適切な運営体制確立

### 1. 運営委員会の開催

保護者や地域に開かれた運営を推進するため、運営委員会を2回開催し、保育計画や保育内容についての協議を行いました。

開催日	内容
第1回 6月2日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・30年度保育計画について</li> <li>・保育課程(年間計画・保健計画・食育計画)</li> <li>・29年度の事業報告</li> <li>・30年度の事業計画</li> </ul>
第2回 3月2日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・30年度の状況報告</li> <li>・31年度の事業計画</li> </ul>

### 2. 施設環境整備の推進

環境整備のため設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低年齢児用手洗い場設置・加湿空気清浄機</li> <li>・ボルダリング設置・掃除機・シュレッダー</li> <li>・パソコン・樽太鼓・ベビープール・プールカバー</li> <li>・幼児用体重計・センサーライト取り付け</li> <li>・電子ミシン・防災用ヘルメット乳幼児用ずきん</li> <li>・(給食室) 冷蔵庫、ガス式回転釜取替え</li> </ul>
老朽化のため改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育室空調機修繕・乳児保育室硝子入れ替え</li> <li>・乳児保育室網戸張替・二人用ブランコ修繕</li> <li>・乳児園庭張替(J Sコーティング)</li> <li>・乳児室換気扇取替え・幼児用トイレタンク修繕</li> <li>・(給食室) 網戸張替、フェンス修理</li> </ul>

### 3. 健康管理の推進

内科健診	4月12日(木)、10月18日(木)
尿検査	4月19日(木)
歯科検診	6月14日(木)
歯みがき指導	6月21日(木)
5歳児健診	6月25日(月)、11月28日(水)
身体計測	乳児(毎月)、幼児(隔月)
視力検査	11月1日(木) 5歳児、2月20日(水) 4歳児

①職員の健康診断

②給食・調乳に係る職員の検便(毎月2回)

③防虫対策(可動式除菌・害虫駆除器クッカノンスーパー設置)

#### 4. 防災計画実施と交通安全指導の推進

年間計画を立て、毎月1回避難訓練を実施しました。また、保護者代表の幼児交通安全クラブ員3名がリーダーとなり、交通安全教室を開催しました。

##### ①避難訓練実施

4月	話を聞く（火災・地震）	10月	火災想定
5月	火災想定	11月	長時間延長保育中
6月	消防署員による指導	12月	消防署員による指導
7月	不審者進入想定	1月	地震想定
8月	風水害	2月	近隣よりの火災想定
9月	地震想定	3月	総合訓練

##### ②交通安全教室（指導）実施

6月 19日（火）	交通安全教室実施（名張警察より指導を受ける）
3月 1日（金）	交通安全教室実施（三重県交通安全協会より指導を受ける）

#### 5. 保護者との連携

年齢毎に年1回、おやつ試食会と同日にクラス懇談会を開催し、保育園での遊びや生活の様子を伝えました。子育て相談や、就学前相談・個人懇談を実施し保護者との連携を図りました。

#### 6. 地域との交流の推進

- ①藤堂家邸の花見（4月6日（金））
- ②寿栄神社境内散歩（随時）
- ③高齢者さんとの交流（ふれあいデイサービス）月2回
- ④小学校運動会参加（年長児）
- ⑤秋祭り親子神輿参加（10月28日（日））
- ⑥戎祭り見学（2月7日（木））
- ⑦小学校訪問（2月12日（火））

#### 7. 幼児の体力の向上

ボルダリングを設置し、室内で体を使った遊びが出来るよう環境を整えました。また、乳児用のバランス橋やトランポリンを置き、その部屋を子ども達がパワールームと命名し、よく活用する事で体力の向上に繋がりました。

#### 8. 読書活動の推進

子どもの発達に応じた絵本を180冊購入し、お話会を定期的に開催しました。また、絵本の紹介や子どもの読書の様子を伝える「絵本の扉」を発行し、保護者への読書啓発に繋がりました。

#### 9. ふれあい活動・高齢者との交流

- ①小、中、高校生とのふれあい活動（夏休み、冬休み利用、延べ9名）
- ②職場体験（名張中、赤目中、南中より15名）
- ③デイサービスの利用者の方と月2回、年長児が歌やふれあい遊びなどを一緒に行い交流をしました。（冬季感染期間を除く）

## 10. 職員の資質向上の推進

年間計画を立て、園内研修を進め園外研修にも積極的に参加しました。また、保育士の技能・経験に応じ専門リーダー（乳児・幼児・子育て・食育・図書・保健・アレルギー・栄養管理）となりキャリアアップに繋げました。

### ①研修内容

園内研修	・人権保育 ・障害児保育 ・公開保育 ・乳児保育 ・幼児保育 ・救急救命
園外研修	・な同会（なばりの同和保育を考える会） ・絵本 ・障害児保育 ・乳児保育 ・幼児保育 ・発達支援 ・食育 ・保健 ・公開保育 ・わらべうた ・保育実践 ・地域子育て ・保護者支援

### ②実習生の受入

実習目的	人数	学校名
保育実習	7名	大阪こども専門学校 他3校
小児看護	3名	名張市立看護専門学校
インターンシップ	6名	名張高等学校

## 3. 特別保育事業

### 1. 低年齢保育事業の推進

生後6か月より受け入れ、0歳児～2歳児まで50名の子どもを保育しました。年齢の発達に応じ、年間・月別に保育計画を持ち、一人ひとりの子どもの個別計画や個人記録をとり、保護者支援（育児相談やアドバイス、看護師による健康相談）を行いました。

### 2. 延長保育事業の推進

#### ①延長保育の利用実績（平日18:15～19:15）

4月	119名	8月	94名	12月	48名
5月	124名	9月	74名	1月	50名
6月	126名	10月	82名	2月	61名
7月	106名	11月	54名	3月	27名

一か月平均 80名 年間延べ利用人数 965名

#### ②スポット保育の利用実績

延長保育の登録園児以外にも朝、夕の突発的な標準時間保育・延長保育に対応しました。

### 3. 個別乳幼児特別支援事業の推進

個別支援計画を立て、4歳児3名の障害児保育を行いました。

5歳児健診、定期巡回訪問、就学前教育相談を行い、途切れのない発達支援を行いました。

### 4. 異年齢交流の推進

毎週火曜日ににこにこデーを開催し、3.4.5歳児で、体操やふれあい遊びを行いました。

#### 5. 一時預かり保育事業の推進

保護者の就労や疾病、育児に伴う心理的・肉体的負担の解消など私的な理由やその他の事由により保育を必要とする児童を、延べ380名預かりました。

	利 用 児 童 数						計
	半 日			一 日			
	① 勤務形態等	② 緊急一時的	③ 私的理由等	① 勤務形態等	② 緊急形態等	③ 私的理由等	
合計	6	9	17	133	108	107	380

#### 6. 家庭支援保育の推進

保護者の気持ちに寄り添い、子育て相談に応じたり家庭推進保育士を中心に保護者支援を行いました。

### 4. マイ保育ステーションの取り組み（地域の子育て支援事業の推進）

育児体験や育児相談、一時預かりサービス利用を通して、妊娠期から途切れのない地域の子育て支援の拠点として事業に取り組みました。

#### 1. マイ保育ステーションの実績

項目	人数	内容
新規登録	196名	未就園児、妊婦さんの登録者
利用人数	延べ3,274名	0歳児の利用が最も多く、96%が3歳未満児
一時預かり無料体験	46名	年1回、午前もしくは午後の半日無料で一時預かり保育を実施

#### 2. 毎月の行事内容

行事	内容
わらべうた	第1木曜：わらべうた・ふれあい遊び
バルーンアート	第2木曜：風船で楽しい事をします
折り紙で遊ぼう	第3木曜：親子で折り紙遊び
ミッチーと遊ぼう	第4木曜：パネルシアター・絵本・わらべうた
絵本大好き	ステーションのスタッフによる絵本のお話会
ナースと一緒に	昭和保育園の看護師による身体計測と相談
その他	園庭開放・夏期時は水あそび・おやつ試食会

### 5. 「子ども子育て新制度」に沿った事業展開

保育指針改定に伴い、保育課程を作成し保育実践に繋げました。教育委員会と連動し年4回「ばりっ子ピカピカ小1学級体験プロジェクト」を実施し、就学前教育に取り組みました。

#### IV 【総合福祉センターふれあい拠点】（地域福祉課）

##### 1. 総合福祉センター指定管理事業

###### 1. 施設の維持管理

###### ①設備の保守点検・修繕等による安全管理と施設の長寿命化

ア. 空調設備（GHP）改修と名張市への設備等更新、大規模修繕実施の要請

設備の老朽化に伴い、平成 29 年度から実施していた空調設備（GHP）の改修について、平成 30 年度においても引き続き改修を行いました。

また、総合福祉センターふれあいは、築 23 年が経過し、施設、設備の老朽化が顕著となっていることから、設備更新や大規模修繕を確実に実施していくため、「名張市総合福祉センターふれあい設備等要修繕箇所に係る報告」にまとめ、名張市に要請を行いました。

施設の管理状況

主 な 管 理 項 目	費 用
警備業務委託	544,320 円
自家用電気工作物保安管理業務委託	436,752 円
昇降機保守点検業務委託	1,189,080 円
駐車場管制装置保守点検業務委託	534,600 円
構内交換電話設備保守業務委託	155,000 円
清掃業務委託	2,834,136 円
設備保守管理業務委託	7,588,944 円
管理運営にかかる休日及び時間外業務委託	2,048,272 円
消火器取替委託	122,160 円
203 会議室屋上防水業務委託	1,047,600 円
給水加圧ポンプユニット取替委託	745,200 円
敷地内高木枝切剪定作業委託	351,648 円
通所介護事業所通路LED照明器具更新委託	432,000 円
その他	404,764 円
管理に要した費用合計	18,434,476 円

###### イ. 施設の修繕状況

危険度や重要度を考慮し、名張市と協議しながら、順次、予算の範囲内で修繕を行いました。

主な修繕箇所	会議室クロス張替修繕、簡易ステージ修繕、各室パーティカルブラインド修繕、外調機用ウエットマスター取替修繕、ふれあいホール移動観覧席修繕、ふれあいホール音響設備修繕、管理事務室クロス張替修繕、機械浴室電源線修繕、外壁シーリング打替修繕、屋上排気ファン塗装修理 等
修繕に要した費用	2,045,320 円

## ②施設利用状況

ア. 会議室・ホール利用件数：2,147件（前年比30件減）

### イ. 利用料・参加費収入

内 訳	金 額
会議室・ホール	3,276,495 円
駐車場	215,850 円
コピー・印刷代	186,015 円
卓球台	130,500 円
合 計	3,808,860 円

## ③環境美化活動の計画的実施による施設周辺の管理

ア. 総合福祉センター内各事業所職員による美化活動

年間を通じて施設周辺の除草作業や周辺歩道等の落葉掃き及び側溝等の浚渫を行いました。

## 2. 施設利用者の意見反映

利用者の意見は、センター内に設置した「ご意見箱」や窓口対応により把握し、施設サービスや職員資質の向上につなげるように努めました。

また、名張市総合福祉センターの設置及び管理に関する条例が改正され、営利事業（販売行為及びその宣伝行為）につながる利用については許可しないこととしました。

## 3. 防災対策

### ①防火管理委員会の開催

第1回 7月5日(木)	第2回 2月4日(月)
-------------	-------------

### ②消防計画に基づく消防、防災訓練の実施

総合福祉センター内での火災及び大地震発生を想定し、各事業所職員を対象とした消防、防災訓練を実施しました。

実施日時	7月25日(水)13:30~15:00	2月28日(木)13:30~15:00
訓練内容	南海トラフを震源とした大地震により、市内で震度6強を観測したため避難誘導と、揺れが治まった直後にダイルーム厨房室から出火したとの想定で実施しました。 ・通報訓練 ・避難誘導訓練 ・初期消火訓練 ・応急手当講習(その1)(その2)	
参加者	社協、名張連絡所、名張市シルバー人材センター、ハローワークプラザ名張、家庭児童相談室、デイサービス利用者及び老人福祉センター利用者	

#### IV 【老人福祉センター「ふれあい」拠点】(介護支援課)

##### ア. 老人福祉センター指定管理事業

老人福祉センター「ふれあい」において、「生きがい活動支援通所事業」及び「介護予防通所事業」を実施し、市内在住の高齢者の交流や健康づくり、介護予防の推進に努めました。

##### 1. 老人福祉センター管理運営事業

###### ①利用状況

開館日数	299 日		
年間延べ利用者数	14,657 名	浴室延べ利用者数	7,597 名
		カラオケ延べ利用者数	6,522 名
		土曜日の障害者利用者数	164 名

##### 2. 生きがい活動支援通所事業

###### ①事業実績

基本事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活相談：受付等にて、随時利用者の生活相談に応じました。</li> <li>映画会：月1回6日間(月～土)映画の上映を実施しました。</li> </ul>																							
風呂の日の実施	利用者のおよそ5割以上が入浴を利用し、利用者からも薬湯等を喜ばれ、利用促進を図るサービス事業として実施しました。	毎月、1週間(月～土)																						
各種発表会の開催	利用者の発表と交流の場を提供し、楽しみを増やすことで生きがいにつながるよう支援するため各種発表会を開催しました。また、利用者によって組織された実行委員会の企画運営など、利用者の主体的な活動を支援しました。																							
	ビリヤード大会	6月16日(土) 参加者：13名 9月22日(土) 参加者：13名 12月15日(土) 参加者：10名 3月23日(土) 参加者：12名																						
	七夕カラオケ大会	7月7日(土) 参加者：69組																						
	新春カラオケ大会	1月19日(土) 参加者：53名																						
地域活動支援	名張地区民生児童委員協議会が実施する「高齢者のつどい」を支援しました。	6月7日(木) 参加者：57名																						
	名張地区松寿会「カラオケ大会」開催を支援しました。	7月19日(木) 参加者：36名																						
自主サークル活動	<table border="1"> <thead> <tr> <th>サークル名</th> <th>回数</th> <th>延参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カラオケ教室</td> <td>23回</td> <td>589名</td> </tr> <tr> <td>いきいき書道クラブ(漢字・かな)</td> <td>12回</td> <td>104名</td> </tr> <tr> <td>レクリエーションサークル</td> <td>12回</td> <td>68名</td> </tr> <tr> <td>ながつき友の会</td> <td>8回</td> <td>60名</td> </tr> <tr> <td>ビリヤードサークル</td> <td>49回</td> <td>291名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>104回</td> <td>1,112名</td> </tr> </tbody> </table>			サークル名	回数	延参加者数	カラオケ教室	23回	589名	いきいき書道クラブ(漢字・かな)	12回	104名	レクリエーションサークル	12回	68名	ながつき友の会	8回	60名	ビリヤードサークル	49回	291名	計	104回	1,112名
	サークル名	回数	延参加者数																					
	カラオケ教室	23回	589名																					
	いきいき書道クラブ(漢字・かな)	12回	104名																					
	レクリエーションサークル	12回	68名																					
	ながつき友の会	8回	60名																					
	ビリヤードサークル	49回	291名																					
計	104回	1,112名																						

社協事業への協力	地域福祉課主催「ふれあいフェスティバル11月24日(土)」に協力し、施設を「ふれあいフェスティバル」開催会場の一部として開催し、利用者の参加を促し、施設見学者を受け入れて施設の周知を図りました。
----------	---

## ②ボランティア協力実績

内 容	回数	延協力者数
カラオケ指導	23回	23名
カラオケ入力	60回	60名
大会支援	2回	4名
スクエアステップ教室（介護予防事業）	40回	109名
ヘルスアップ教室（介護予防事業）	2回	10名

## イ. 介護予防事業

メニュー	内容	備考
健康相談	受付にて、希望者に血圧測定・健康相談に応じました。	延べ 722名
一般マシン・トレーニング教室	年間を6クールに分け、1クール7回のコースで、運動器機能の向上のため、マシン・トレーニング教室を実施（月～金曜日に実施）しました。	実施日数 206日 延べ 3,475名
ヘルスアップ教室	心身ともに健康でいきいきと、生涯健康生活を目指すように、三重県地域栄養士連絡協議会と連携して実施しました。栄養士さんが献立を考え、ボランティアの方と一緒に調理した“目でも楽しみ体にやさしいお弁当「一足早いお花見弁当」”を栄養士さんのお話を聞いて参加者のみなさんでおいしくいただいて交流を深めました。	延べ 43名
スクエアステップ教室	高齢者の介護予防、認知機能向上、体力づくりに効果がある「スクエアステップ」をリーダー（ボランティア）の協力を得て実施しました。	実施日数 48日 延べ 905名
血圧記録用紙	自分自身の健康管理を目的に発行しました。	発行部数 10冊 血圧測定者
歯科衛生士による「歯科相談」	歯科衛生士によるお口のアンケートと歯科相談を実施。1日はふれあいフェスティバルに協力し実施しました。	実施日数 4日 延べ 80名
健康づくり・介護予防併発チラシ	高齢期の「健康づくり」「介護予防」「認知症予防」の意識づけを目的に提供しました。	
脳トレチラシの配布	自由に取り組めるようパズルや数独などを毎週新しいものを提供しました。	



## 平成30年度 事業報告の附属明細書

平成30年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和元年6月

社会福祉法人  
名張市社会福祉協議会